

夏休み企画展

お金をめぐる

歌舞伎 千夜一夜

—— お金によって幸・不幸を左右された
歌舞伎の物語をご紹介します ——

「長浜曳山祭の曳山行事」は
ユネスコ無形文化遺産候補です

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

平成26年
7月28日(月)
8月31日(日)
—— 会期中無休 ——

■開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで)
■入館料:大人600円、小中学生300円(団体20名様以上2割引) ※長浜市・米原市の小中学生は無料 ■主催:公益財団法人長浜曳山文化協会



恋飛脚大和往来封印切(平成16年度・萬歳樓)



夏休み企画展

お金をめぐる 歌舞伎千夜一夜

いつの世もお金というものはトラブルの原因となります。
「地獄の沙汰も金次第」とも言いますが、
やはりお金というものは厄介なものです。
歌舞伎や浄瑠璃の世界ではさらにややこしいものになって、
登場人物が窮地に追い込まれてしまいます。

今回は旧家の土蔵から見つかった小判の展示にちなみ、
お金にまつわる歌舞伎の世界を紹介します。

主な展示資料

- | | | | |
|---------------|----|----|------------|
| ・歌舞伎装束 | 三点 | 現代 | ミュージアム中仙道蔵 |
| ・絵画(中川とも) | 三点 | 現代 | 岐阜県中津川市蔵 |
| ・歌舞伎に使用される小道具 | 五点 | 現代 | 月宮殿田町組蔵 |
| ・歌舞伎装束 | 二点 | 現代 | 個人蔵 |



遊女のカツラ



恋飛脚大和往来新口村 梅川装束



新版歌祭文野崎村に使用された引き船
(曳山子ども歌舞伎使用)



新版歌祭文野崎村に使用された駕籠
(曳山子ども歌舞伎使用)

同時開催

1/27(月) → 12/28(日)

土蔵から見つかった江戸時代の貨幣展

《期間限定展示テーマ》
おもちゃの貨幣

6/2(月) → 8/31(日)

旧家の土蔵から見つかった小判や銀製品、からくり筆
筒などを多数展示中です。その他期間限定展示として、
江戸時代の子供たちが遊んだ、土製品のお金も展示し
ています。



《次回期間限定展示》 9月1日(月)～12月28日(日) 企画展 [江戸時代の貨幣展+描かれた貨幣]

● 曳山博物館はユネスコ無形文化遺産候補「長浜曳山祭の曳山行事」を紹介する博物館です ●

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



● JR長浜駅から徒歩7分 ● 長浜ICより車で10分